

愛媛大学社会連携推進機構研究協力会 平成 23 年度事業報告

○研究協力会関係

開催年月日	事業内容
23. 7. 15	<p>1. 平成23年度社会連携推進機構研究協力会総会を開催</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>総会の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(特別講演) 東日本大震災現地調査報告</p> </div> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <p style="text-align: center;">学生団体（メディア・サポーター映像部）による会員企業への 訪問取材ダイジェスト版の放映</p> </div>
23. 4. 7 ～24. 3. 1	<p>2. 研究協力会研究部会の活動【7部会】【別紙1参照】 ＜部会の活動風景＞</p> <div style="margin-bottom: 10px;"> <p>1. えひめITフェア（アイテムえひめにて開催）（23. 6. 24・25） ～地域情報化研究部会・e-Learning研究部会合同でPR参加～</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> </div> <p>2. BCP研究部会活動風景（23. 4. 7～23. 11. 14）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

23. 4. 1
～24. 3. 31

◎ 地元企業サポートキャラバン

1. キャラバン活動目標 100社訪問
2. キャラバン活動実績（平成 24 年 3 月現在）
延べ訪問件数 62件 訪問先数 44先
3. キャラバン活動風景



23. 9. 14. 15. 21
. 22の 4 日間

◎ 愛媛大学ものづくり基盤技術担い手育成研修



【別紙 2 参照】

23. 10. 24

◎ 愛媛大学産官学交流会

＜愛媛大学との交流・相談会＞

講演 1 「大腸発酵産物の栄養・生理機能：ルミナコイドの新たな役割」

講師：農学部 教授 海老原 清氏

大腸に達したルミナコイドは腸内細菌によって発酵（分解）を受け、水素ガスや短鎖脂肪酸（酢酸、酪酸、プロピオン酸）を生成する。これらの発酵産物の新たな役割について紹介します。



講演風景



熱心に聴講する参加者

講演 2 「日常を安全・安心・快適にする光」

講師：工学部 教授 神野雅文氏

照明は光の使い方次第で、その効果は天と地ほどの差が出ます。光の発生の仕組みから使い方までの実例を交えて「上手な光の使い方」を紹介します。



光の効果の違いを説明する講師



実際に体感している参加者

（前ページの続き）

《個別相談会同時開催》

◎食品開発・加工に関するアドバイス

農学部教授 海老原 清氏

◎店舗・職場・ディスプレイ等の照明に関するアドバイス

工学部教授 神野 雅文氏

◎セミナーの開催支援

知的財産研修公開セミナー（全4回）



セミナー風景



講演内容メモする参加者

23. 6. 23

・「発明のとらえ方と明細書の書き方」

藤井特許事務所 所長・弁理士 藤井康夫氏

23. 6. 30

・「情報通信関係企業におけるライセンス交渉と

侵害訴訟に見る攻防の現状」

パナソニック(株)IPROCLICENSEC法務2T

チームリーダー 青木潤氏

23. 7. 7

・「情報通信分野における米国・中国を中心とした外国知的財産戦略」

さくら国際知的財産コンサルタント(株)代表 小倉稔也氏

23. 7. 14

・「経営に資する知財戦略」

～オムロン事例および、知財成果指標を交えて～

ZIPコンサルティング代表 北尾善一氏

◎えひめ5:30倶楽部

23. 6. 2

・第1回 参加者129名 担当 松山市

23.10.24

・第2回 参加者120名 担当 松山商工会議所

24. 2. 16

・第3回 参加者113名 担当 愛媛県中小企業団体中央会

社会連携推進機構研究協力会

◎メールマガジン発行

毎月1回

各種イベント案内・コーディネーターの紹介等

◎その他産官学連携イベントへの支援

23. 5. 24

・平成23年度研究員交流サロン総会（愛媛大学）

23. 9. 14. 15. 21. 22

・愛媛大学ものづくり基盤技術担い手育成研修（愛媛大学）

23. 11. 12-13

・あいだい博2011（愛媛大学ミュージアム）

23. 12. 21

・平成23年度ジュニアドベンチャー選手権（テクノプラザ愛媛）

24. 2. 18-19

・まつやま農林水産まつり（アイテムえひめ）

23. 4. 1-24. 3. 31

・えひめスイーツプロジェクト2011 ほか多数

○研究部会活動実績

	研究部会名と活動内容	活動回数	部会代表者
1	総合地域政策研究部会 地域における情報に関連した多様な課題を調査・検討し、関連する政策を導くことによって地域貢献を進めることを目的としている。	計3回 23. 9. 1 23. 11. 1 24. 3. 1	法文学部 准教授 岡本 隆
2	地域情報化研究部会 情報処理技術、情報通信技術を活用し、地域の情報化を推し進めることで、地域におけるQOL(生活の質)向上や企業活動の活性化に寄与することを目指す。民間企業、自治体、政府などと協力し、単なる機器にとどまらず、アプリケーションサービスに至るまでの幅広い課題の発掘、開発、実用化について検討・研究を行う。	計2回 23. 6. 24 23. 6. 25	大学院理工学研究科 教授 小林 真也
3	e-Learning研究部会 企業内研修で利用されていたe-Learningが高等教育機関で利用されるようになり、システムに必要とされる機能や効率的な利用方法などの知見が数多く得られてきた。これらの知見を企業内研修で利用されるe-Learningにフィードバックするための検討を行う。	計2回 23. 6. 24 23. 6. 25	総合情報メディアセンター 教授 中川 祐治
4	四国組込ソフトウェア研究部会 半導体集積回路と組み込みソフトウェアからなるシステムLSIは、情報社会の基幹産業として今後も発展が見込まれる分野であり、製造技術中心の産業から、企画・設計技術が付加価値を与える産業への発展の中核を担う技術である。本研究部会は、システムLSI等への組み込みソフトウェアに関する勉強会を行い、地域産業の高度化に寄与する。	計2回 23. 11. 16~18 24. 1. 24	大学院理工学研究科 講師 阿萬 裕久
5	BCP研究部会 BCP(Business Continuity Plan:事業継続計画)は、自然災害や大火災等の緊急事態に備えることで、顧客への供給責任を果たし企業価値を守るための経営戦略である。本研究部会では、地域企業のBCP導入促進のため、産官学の役割分担および事業展開の在り方について検討・研究を行う。	計9回 23. 4. 7 23. 4. 26 23. 5. 17 23. 6. 2 23. 8. 24 23. 9. 12 23. 10. 3 23. 10. 24 23. 11. 14	防災情報研究センター 副センター長 板屋 英治
6	食品機能研究部会 食品の持つ機能性について、アレルギー抑制活性、抗ガン活性、抗酸化活性等について幅広く調査を行うとともに、セミナーや企業とのディスカッションを行い、食品関連産業の発展に寄与する。	計1回 23. 5. 10	農学部 准教授 菅原 卓也
7	優しい福祉工学研究部会 ユーザー及び環境に優しい、US(ユニバーサルデザイン)に配慮した電動車の研究開発を行う。 ※平成24年度から「優しい福祉工学研究部会」に名称変更	計2回 23. 7. 4 23. 10. 29	大学院理工学研究科 教授 柴田 諭